

経営比較分析表（令和3年度決算）

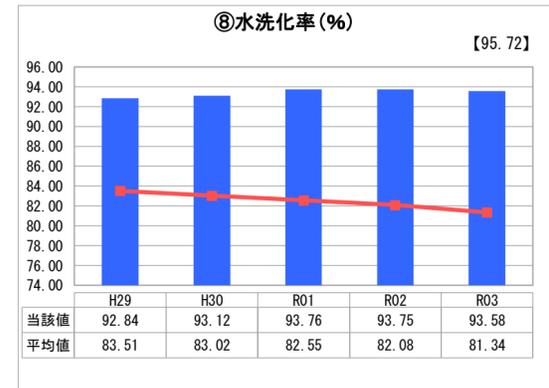
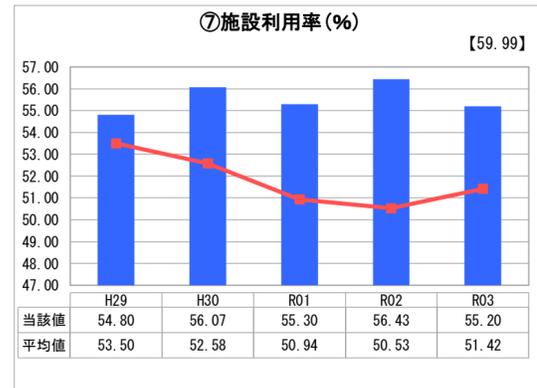
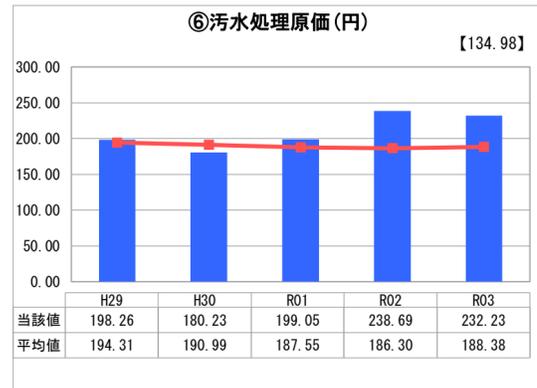
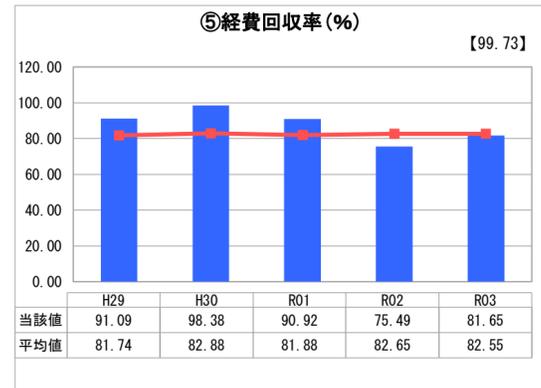
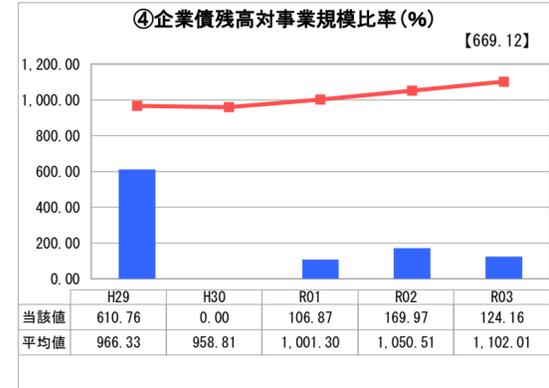
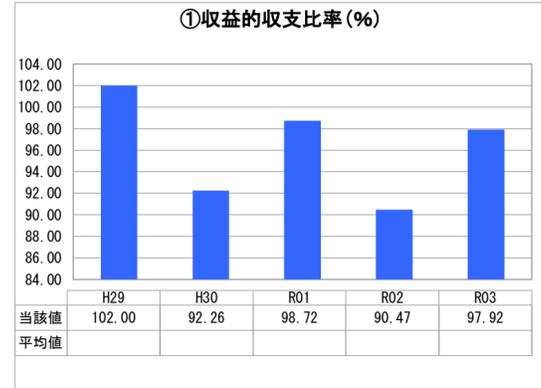
鳥取県 八頭町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cc2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	34.87	90.00	3,685

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
16,412	206.71	79.40
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
5,688	1.93	2,947.15

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

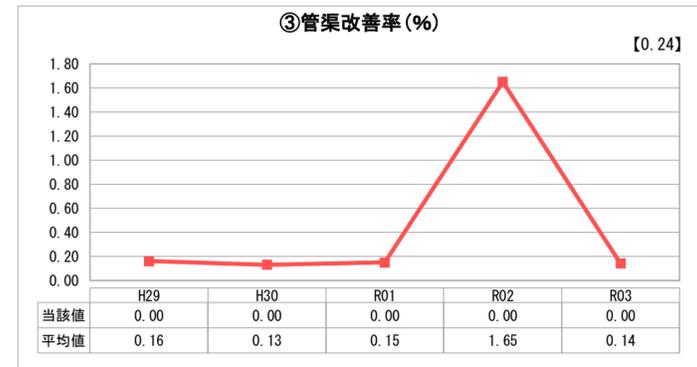
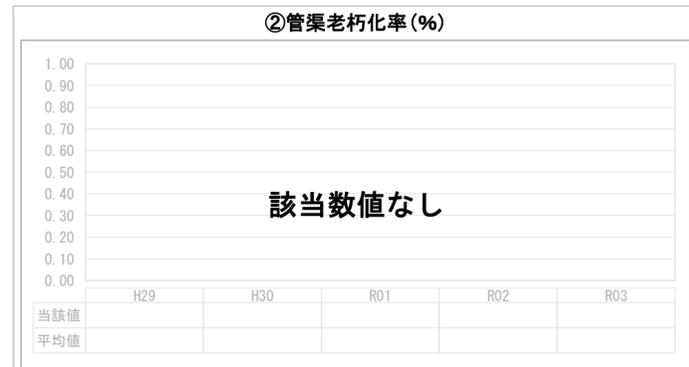
1. 経営の健全性・効率性について

●収益的収支比率は、料金収入が微増となり、支出が減少したことから、R3は前年度より数値が7.45ポイント増加した。今後、支払利息・地方債償還金はほぼ横ばい、料金収入は人口減少により減少で推移することから、料金の引上げを着実に実行する予定である。●企業債残高対事業規模比率は、地方債残高に対する一般会計等負担額を料金収入で賄えているため、事業規模の面からみて健全な状況であるといえる。今後の施設更新等の建設事業の規模も下水道事業開始時と比較して大きなものとはならないため、これまでと同様に比率は低水準で推移すると見込まれる。●経費回収率は年々減少していたものの、R3は下水使用料が増加したこと、6.16ポイントの増加となった。料金収入の徴収強化や修繕費の抑制等行っており、類似団体と比較して同水準となっているものの、全国平均と比較するとまだ健全性は低く、100%を超えていない状況であるため、更なる維持管理費の抑制及び料金の引上げ等の対策が必要である。●汚水処理原価については、類似団体と比較してR3は43.85円上回っている。全国平均と比較しても処理費用の効率性は低い水準にあると言え、継続して更なる維持管理費の抑制に努めなければならない。●施設利用率については、年度毎で数値にばらつきがあるものの、ここ4年間は高い水準で推移しており、R3は類似団体と比較して3.78%上回り、全国平均値にも近づきつつある。●水洗化率はすでに高い水準にあり、類似団体と比較するとR3で12.24%上回っている。今後は隣接する農業集落排水処理区との統合等による余剰能力の活用方法を検討し、施設利用率のさらなる向上を図っていく必要がある。

2. 老朽化の状況について

管渠については、下水道事業開始以後、耐用年数に達したものがなく、これまで緊急的に更新する必要性がなかったため、管渠改善率は0で推移している。しかし、大半が耐用年数を経過している処理施設の機械設備や電気設備の老朽化が特に目立ってきており、現在、ストックマネジメント事業に取り組んでいるところである。今後、これらの事業実施等により施設更新に取り組んでいく予定であるが、事業費の平準化を図りながら計画的に実施していく必要がある。

2. 老朽化の状況



全体総括

今後、維持管理費の更なる抑制を図ることは当然ながら、人口減少による料金収入の減少、老朽化する機械・電気設備等の施設更新費用の増大等に対応していくため、運営審議会の答申に沿った料金の見直し等の対策を進めていく必要がある。また、ストックマネジメント事業等の実施により処理施設の電気・機械設備の計画的な施設更新を行い、事業費の平準化を行いながら健全な事業経営の確保を図っていく必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。